

# 平成23年5月定例教育委員会会議録

(1) 開会及び閉会に関する事項

平成23年5月24日(火) 三好市教育委員会 会議室  
開会 午後2時00分  
閉会 午後4時03分

(2) 出席委員の氏名

委員長 岡本 佳代子 委員長職務代理者 小松 正  
委員 森本 久美子 委員 谷 敏司  
教育長 倉本 淳一

(3) 委員及び傍聴人を除くほか、議場に出席した者の氏名

◆出席職員

教育次長 田岡 啓子  
学校教育課長 伊原 清幸 文化財課長 中岡 久雄  
生涯学習課長 鈴木 良英 スポーツ健康課長 辺見 進一  
教育指導主事 喜多 雅文  
◆傍聴人 0名

(4) 議事録署名者の指名

小松 正 委員

(5) 報告事項

①教育長等の報告の要旨

(倉本教育長)

4月27日からの行事について行事一覧表にそって説明します。

三好市人形浄瑠璃実行委員会を4月28日、公民館で開催しました。従来、2千円の券を婦人会が中心となって売っていただいているのですが、今年で5回目になり、なかなか市民の間でも、物珍しさが薄れてきて、売れ行きが悪くなっている。婦人会の皆さんも苦勞されているということですが、三好市出身の人形遣い 吉田勘祿さんが出ているということもあって、なんとかこれを続けたいということで、今までは、吉田さんの池田中学の同窓生が中心となって実行委員会が動いてきたのですが、これ

を三好市民挙げてやっていこうと。そして、協賛金を募って、チケット代をもう少し下げられないかという話もありましたので、企業や団体の代表者の方に実行委員会に入っていただくということで、今、準備を進めているところです。間もなく、その新しく実行委員さんになられる方に案内を送るというような運びになっています。従来とはちょっと形が変わるということで、ご承知おきください。

また、一口1万円の協賛金をいただいて、招待券を2枚渡す。つまり、有志の方に5千円で買っていただいて、一般の人の値段を落とせないかと、また、お願いになるかも知れませんが、そのときはよろしく願います。

5月2日、チャレンジデー実行委員会を総合体育館で開催しました。明日がチャレンジデーです。今年は大震災の関係で、対戦相手がいないということですので、三好市自身が競争相手として、去年の参加率52パーセントを上回る結果を残したいと思っております。委員のみなさんも、ご家族で参加をお願いしたい。

5月10日、学校訪問を井川、三野地区で行いました。このときは、小松委員さん、森本委員さん、ご都合が悪くてご参加いただけなかったのですが、他の地域と同じ方法でやっておりますので、また、ご感想を後でお聞かせいただいでですね、今後、どういったやり方でしていったらいいかということも考えていけたらと思っております。それから、5月11日、青少年育成センターの運営委員会を公民館で行いました。従来、広域連合でやっておりました青少年育成センターが各市町村でやるということになりました。三好市は生涯学習課の中におきまして、従来は活動や事業に取り組むことになりました。そのための実行委員さんを選出いたしまして、これからの運営についてのご相談を行ったところです。

文教厚生委員会の視察が5月12日に、東祖谷を中心にありました。これについては、次長から報告します。

(田岡次長)

視察場所は、1か所目が東祖谷の阿佐家住宅で、文化財課長が現場説明をしました。今現在、ここは個人所有となっています。今後、市としては文化遺産として保存していくという方向性を持っています。その次に、落合重要伝統的建造物保存地区を視察。午後から、東祖谷の統合小中学校の現場を視察しました。現場の状況を見ていただいて、工期であるとか、工事の遅れであるとかを議員の皆さんから指摘を受けました。後、資材の調達状況等についての質問がありました。そのあと、教員住宅の現状について視察しました。教員住宅については、統合後の教員が利用可能かであるとか、統合後の教員数の把握であるとかといった質問がありました。この件については25人前後と推測していますが、まだ、はっきりした数字でないと説明しました。後、旧川口郵便局、川崎の百年蔵を視察しました。

(倉本教育長)

続いて、5月13日、四国都市教育長会が愛媛県八幡浜市でありました。これは、四国内の市だけが集まって、いろいろな課題について協議いたしました。最近、休職者が増えている問題でありますとか、徳島県では体力づくりをどういった方向で取り組むとか、高知では避難所としての役割を、学校としてどう取り組むかといった問題提起がありました。我々も今回の震災を踏まえて、避難所の役割をどうするのかということをごきちんと考えておく必要があると思っております。例えば、高知県では避難所の直接の責任者は校長、避難所での対応は教頭、初期対応が一番近くの教員というような位置づけで、自治会と消防署との連携を取っているということです。特に、鍵の問題を言っておりました。うちも一緒なんですけど、最近、地元の人が少ないので、すぐに鍵をあけるといことができないことがあります、自治会とか消防と連携をとって、すぐに学校が使えるという話がありまして、そういう点は参考にしていきたい。

5月15日、三好市制5周年記念式典。小松委員さんが出席いただいておりましたが、式典後、三重大学の学長で、三縄の内田医院の院長さんのお兄さんにあたられる方の講演がありました。

5月17日、東みよし町の教育委員会で、三好市、東みよし町、美馬市、つるぎ町の4つの市町村が集まりまして、鳴門教育大学の先生が3人こられまして、管理職になる前の中堅の先生を対象に、教職員大学の学校経営の勉強をしていただく大学院を作っていますが、なかなか人が集まらないということで、なんとかこっちからも送ってこないかという話がありました。

5月18日、三好市民文化祭実行委員会。今年も11月を文化月間として、いろいろなイベント担当者が一堂に会しまして、日程調整等の話し合いをしました。

5月19日は、社会教育委員会を開催いたしました。これは、学校教育以外のいろいろなご提言をいただくという会でございます。学校教育と社会教育が連携していかないとまくいかないということでございます。

それから、昨日です。堺文化財特別公開展「三好一族と堺幕府」へ視察に行ってきました。

堺を舞台に三好長慶が畿内を支配したということで、ここには三好一族とかかわりが深い史蹟とか文化財がたくさんあるわけで、その関係のお墓がある 南宗寺と妙國寺というお寺、顕本寺跡などを見学しました。堺市ではボランティアの人が190人くらいいるらしいのですが、いたるところにおられていろいろな説明をしていただくと。昨日はあいにくの雨で、また、月曜日ということでボランティアの人も暇をもてあましていた状況でしたので、行くところ行くところ詳しく説明をしてくれました。15年くらいボランティアの歴史があるそうです。こういった体制はすごいなあと思います。これは市を挙げてやってみて、感心させられました。

それから、行事予定については、5月25日はチャレンジデー、27日が学校訪問の最終日、6月1日から議会が始まります。同じ日に、市民大学講座、6月6日から8日まで学校長ヒアリングをこの場所で開催します。これは県教委が中心になって開かれます。一般質問は6月10日、13日。文教厚生委員会は17日で、24日が閉会日となっています。

定例教育委員会は6月28日火曜日を予定しています。

(田岡次長)

6月議会の補正予算について、教育委員会部局としては主に人件費関係の補正です。また、小学校費の補正は特別支援教育総合推進事業と社会教育費では地域ぐるみの学校支援事業、富士正晴全国高等学校文芸誌賞の予算を計上しております。22年度については、専決補正があります。

(岡本委員長)

特別支援教育総合推進事業はどういったことを予定していますか。

(伊原学校教育課長)

就学前を管轄する福祉部門と就学時を管轄する教育委員会が継続して、要支援のデータを活用する仕組みを創っていきます。県のモデル事業補助金を活用して、個人のデータを保護者に保管してもらうため、ファイルを作って配布します。就学前までの様子を記録したファイルを保護者が保管し、就学後にも活用していただく仕組みです。

(岡本委員長)

今までは、なかったのですか。

(田岡次長)

無かったですね。今回の事業で、5歳児全員を対象に配布します。

(岡本委員長)

ファイルの内容については、決まっていますか。

(伊原学校教育課長)

内容については、これから決めていきます。

(谷委員)

事業の継続が前提なのですよね。継続性がなければ意味がないですね。

(岡本委員長)

一年生が対象なのですね。

(田岡次長)

そうです。今現在の状況が、特別支援に該当するかどうかではなくて、後から支援が必要になったりする場合も含めてということで、全員に配布します。

(小松委員)

徳島とか鳴門とか先にやっているところを参考にしてください。

(倉本教育長)

なぜ特別支援という名前が付いているのかというところを、きちんと説明していかないといけない。

(岡本委員長)

それでは、報告事項は以上とします。

## (6) 議題および議事の概要

### 【議題】

- ① 平成23年4月定例会会議録の承認について
- ② 平成24年度使用中学校教科用図書採択協議会委員の選任について
- ③ 平成23年度三好市教育委員会の点検・評価について
- ④ 平成23年度三好市教育委員会先進地視察について

(岡本委員長)

続いて、議題に移ります。まず、1番の4月定例会会議録の承認についてを議題とします。事務局より説明を願います。

(伊原学校教育課長)

お手元に、4月の会議録を配布させていただいています。今年度から、三好市教育委員会のホームページに会議録を掲載し、公開するというので、三好市教育委員会会議規則の中で、会議録に記載する事項が定められていますので、その様式に従いまして、お手元の会議録を作成しております。この形式で、各定例会におきまして、前回の会議録につきまして、ご確認いただいて、承認をいただいたものをホームページに掲載するというようになります。ホームページの掲載期間については、いまのところ設定をしていません。他の自治体の例では、3年とか5年とかという例もございます。

(岡本委員長)

このまま掲載するわけですね。どうでしょうか。内容については。

それでは、異議がないようなので、この件については承認されました。

それでは、次に、議題2番についてを議題とします。平成24年度使用中学校教科用図書採択協議会委員の選任についてです。

(倉本教育長)

ご承知のように、採択委員についてはマル秘でやっていますので、この件については秘密会をお願いしたい。

(岡本委員長)

どうでしょうか、異議ございませんか。

(各委員)

「同意。」

(岡本委員長)

それでは、この件については秘密会とします。

(岡本委員長)

議題2番については、原案通り決定されました。

続きまして、議題3に移ります。この議題からは、秘密会を解きます。説明を願います。

(倉本教育長)

前回からの宿題となっていました、三好市教育委員会重点目標を評価の対象とす

るということになって、中身をどうするかという話だったと思いますが、1ページについては、評価項目についてはそのまま、具体項目についてもそのまま、点検評価内容については、教育委員会定例会を何回開いたであるとか、臨時会を何回開いたであるとか、そういった実績を中に入れて、事務局のほうで評価していく。これは、1の教育委員会の活動と2番目の教育委員会が管理執行する事務についてはそのままです。教育委員会が管理執行する事務については、昨年までは、点検評価する内容が入っていましたが、ここに付け加えていって、評価していく。

問題は4ページですね。教育委員会が教育長に管理執行を委任する事務。ここに具体項目に何を入れるかということですが、例えば、一番ですが、共に生きる社会づくりと人権文化の創造では3つの柱がありまして、3つの具体項目①、②、③がそうなんです。(1)の「学びの支援と生涯学習環境の整備充実」であれば、①の生涯学習講座において、人材の活用を図り、多様な学習機会の提供を図る。②で蔵書検索システムの活用による図書館の利用推進を図る。③で生涯学習施設の整備・充実を図る。となっています。この3項目を中心に、事務局のほうで評価をし、評価を決める。そして、それを我々で評価をして、調整をしていくと。そういう形が一番、重点施策の項目に沿っているのではないかと思います、この三好市の具体的実践施策の項目を3つずつ入れさせていただきます。これが、原案でございます。その点について協議いただきたいと思います。

(岡本委員長)

それでは、この件についてどうでしょうか。

(小松委員)

項目は、今、教育長が言われたように、前項目すべてが入るのでそれでいいと思います。それぞれの項目を、どの程度、どういったことをしているのかということを経理局から説明があれば、どこまでやろうとしているのかはつきりすると思います。例えば、2番目の蔵書検索システムの活用であれば、具体的にどういうことをするのかということだろうと思います。

(倉本教育長)

例えば、この項目であれば、昨年と今年と比べてみて、全然変わってないとなれば当然、評価は低くなると思いますのでね。そういうような評価になるのかなあとと思います。パソコンを家庭で持っている方は、予約なんかをしていると思いますが、そうした予約の状況なんかを比較できると思いますが、そういう形で、大雑把な評価になることもあろうかと思っています。

(谷委員)

私も、小松委員さんが言われたとおりの感想なのですが、ちょっと前に、昨年の評価をしましたよね。その評価した感じなのですが、結果として、その内容を見て、これがAであるとかBであるとかは意味がないのであって、できれば、この時点で、ここまで出来たらというのがあって、それに対して1年後にどうだったというのが、評価ですかね。

(倉本教育長)

到達度評価というのがあってね、ここまでくればいいんだという。ところが、この中には、ここまでくればAなのだという基準がなかなか決められないものもあってね。この1番の共に生きる社会づくりと人権文化の創造であれば、全部で9項目あるので、その中で、教育委員会の事務局としては、今年はこの項目のこれについて力を入れて、全体的には非常に良かったのではないかというような評価になろうかと思えます。1つ1つ到達基準を決めて、取り組むのは難しいのではないかと思います。事務局としては、特に今年はこの項目のこの点について力を入れて取り組んできたということの評価いただくというのでよいのではと私は思っております。

(森本委員)

何もなくて評価するのではなくて、何かの目安を決めてするほうがいいのではと思います。

(岡本委員長)

蔵書システムの活用というのであれば、昨年と比較できますよね。利用促進であれば、数字的に上がってなくても、こういう取り組みをしてきた、こういう努力をしてきたということは評価ができるのでは。

(倉本教育長)

生涯学習施設の整備・充実であれば、どこまで整備すればAランクになるのかというのは、難しい問題ではありますが、その基準をだれが決めるかという話になると。

(小松委員)

現在の目標なり、それぞれの部署がどこまでしようかという思いがなかったらいかんのじゃないですか。

(倉本教育長)



そうなのですが、重点目標なので、文章で書くところという形になるのではと思います。生涯学習施設を今年は一か所造りますと言ったことは、施策としては、なかなか書けないのです。

(谷委員)

教育長の、この前言っていただいたイメージとして、全部の項目について具体項目を挙げるのではなくて、絞った形でもいいのですよね。

(倉本教育長)

それはそれでいいのですよ。この中で、ここまでという基準を作っていたら、それはそれでいいのです。

(谷委員)

逆に、絞るとした場合に、どうやって絞るか。今年はこれ、来年はこれという絞り方でいいのかな。それもそうじゃなくて、私の中でも難しい。

(倉本教育長)

事務局側が、自分たちの仕事をしながら、そればかりに重点を置いた仕事をするのが、はたしていいのか。バランスのとれた教育行政になるのかという、評価を意識した力の入れ方では困るなあと。ですから、大雑把な話になって申し訳ないんですけど、今年9項目の中のこの項目に重点を置いて、成果が上がったので、そこを評価してAにしようじゃないかBにしようじゃないかという評価にしていたら、事務局としても評価しやすい。そういうこともあって、9項目として案を出させていただいた。

(岡本委員長)

どれも休むことができない施策なので、どれも網羅しておかなければいけないことなので。

(倉本教育長)

教育委員さんの中で、特にこれに力を入れてやっていこうと。重点施策の中の重点施策というものを選んでいただければ。数値目標も、これくらいにしようというものを話し合っていたらいい。

(小松委員)

ちょっと、私と教育長との言わんとすることが違っているように受け止めるかもわ

かりませんが、教育委員がこれをどうしろというのではなくて、事務局が仕事をするうえでの思いがあると思います。事務局の方が、今年は仕事をするうえで、目標としてこうやりたいというものがあると思いますので、それがあつたら、さつき谷さんもいっとつたように、それにそって評価する。思いを持ってなくて、今年はこれをやりましたというのでは、ちょっと違うのではないか。それだけのことなのですよ。こちらからの押し付けではなくて、今年はここまでやりたいということを、もう少しはっきりしておいたほうがよいということなのです。

(倉本教育長)

重点施策ということで、表に出して掲げている以上は、それに対して評価をしていくというのは、基本的にはそれでいいのではないか。それに対して、どれに重点を置いてやっていくかということになっていく。だから、評価する際に、今年はこれをやろうと思っていただけでもできなかった。こっちはできた。というような評価をすれば、小松委員さんが言われたような評価にはなるのではないか。

(岡本委員長)

実際に仕事する方が、そういった目標を持って取り組んでいただいたらいいのではないか。そういう目標を持って、評価するときにはそういうものも説明いただいて、評価するというのでいいのではと思います。

(谷委員)

これをもとに、事務局側として自己評価してもらって、それを聞かせてもらう。そういうことですね。

(倉本教育長)

そうなのです。今まではこちら側が評価しておったのです。それはちょっとおかしいのではと思ひまして。今年は、こういう形でやらしていただいてよろしいでしょうか。

(岡本委員長)

他にございませんか。

それでは、この件については調整いただいて、他の件については異議なしということに決定します。

次の議題④について、説明をお願いします。

(倉本教育長)

教育委員会の先進地視察、伊吹島の件ですが、この間、都市教育長会議の時に観音寺の教育長さんとお会いして、お話ししたら、「学校要覧をお送りしましたよ。」ということでした。

(岡本委員長)

島ということで、規模が小さいので参考になるかどうかということですが、統合が予定されている東祖谷の学校と形は同じで、こちらは教頭がひとりで、校長と教頭が小学校と中学校の担当を分けているようです。人数は小学校が14人、中学校が23人ですね。東祖谷は50人くらいですかね。問題は、東祖谷は4校が統合することと、小中が連携することによって課題があると思います。ここは、元々がそれぞれが1校で、同じ場所になったということで、うちの方が、課題が多くあると思います。

(倉本教育長)

一番大きいのは、小中学校の連携。特に中学校の先生が小学校に入っていかなければならないということで、小学校の先生はほとんど毎時間授業に行っている。中学校の先生はそれよりも少ない。中学校から小学校への協力体制を取らなければうまくいかないのかなと思います。そういうことを、どういう風にやっているのかということを見るだけでも違うと思います。

(岡本委員長)

中学校では部活動があります。小学校の先生も部活動に入っていく。自分の学校という意識をいかに持っていくか。

(谷委員)

去年行かせてもらった尾道の桃島小学校。あれも私自身、すごい参考になりました。実際に行って、イメージもできました。できれば、祖谷の先生方も一緒に行っていたら、問題点も実際にお持ちだと思えるのですよ。

(伊原学校教育課長)

6月24日まで議会が予定されていますので、できましたら、それ以後の夏休みになるまでの間ということで調整できたらと思います。

(倉本教育長)

向こうも議会があると思いますので、7月の初めくらいがどうか。向こうにちょっと聞いてみてと思います。6月の定例会の時に、原案が出せるように事務局で調

整してもらいます。

(伊原学校教育課長)

6月29日、30日、7月の7日か8日くらいで調整させていただいて、また、連絡をさせていただきます。

(岡本委員長)

それでは、この件については了解いただいたということで、議題については終了します。

## ⑥各課連絡事項および当面の課題について

ア) 鈴木生涯学習課長より、生涯学習課に4月から移管になった青少年育成センターの事業概要について報告。

- ・ 名称 三好市青少年育成センター
- ・ 場所 三好市教育委員会生涯学習課内
- ・ 対象 三好市内管内
- ・ 運営委員会体制
  - 会長 =池尻 英昭 (三好市青少年補導委員会)
  - 副会長 =新居 克佳 (三好市学校長代表)
  - 運営委員 =山田 真吾 (三好警察署生活安全課)
  - 運営委員 =藤原 隆司 (三好市小学校生徒指導主任部会)
  - 運営委員 =井下 貴文 (三好市中学校生徒指導主任部会)
  - 運営委員 =藤田 隆和 (三好市高等学校生徒指導主事会)
  - 運営委員 =吉村 政昭 (三好市小中高 PTA 連合会)
  - 運営委員 =大場 博英 (三好市防犯対策囑託員)
  - 監事 =長尾 徳男 (三好市民生児童委員連絡協議会)
  - 監事 =川原 芳明 (三好地区保護司会)
- ・ 事務局体制
  - 所長 =田岡 啓子
  - 副所長 =鈴木 良英
  - 事務局長 =西村 章彦
  - 事務局員 =川人 麻起子
  - 巡查長 =森田 晃代
  - 少年補導職員 =山本 浩子
  - 長期社会体験研修生 =尾形 君代

(岡本委員長)

他になければ、これで定例会を終了します。

以上

本会議録に相違ないことを認め署名する。

平成23年6月28日

委員長

議事録署名者

書記